

観光

観光庁との連携について

Q

1 観光庁との連携強化を促進するよ

うな実績について

2 観光庁が検討している全国統一基準と本町の実施している調査との違い及びその対策について

A

観光庁との連携強化を促進する一つとして、町職員の研修派遣があるが、現在、具体的な調整を観光庁総務課調整室と

進めているが、本町からは平成21年度に1名の派遣を予定しており、期間は原則1年である。

その他、観光庁の重点施策の一つである「国際観光の振興」に伴うビジット・ジャパン・キャンペーンについては、本町も連携・協力しているが、本年度はフランスの観光ガイドブック「ミシユランガイド」取材や上海テレビ番組「東京印象」訪日ロケ取材支援や国との連携事業として台湾訪

都市整備

湯本地域のまちづくりについて

Q

1 箱根湯本ターミナルの機能に向け

2 町道湯2号線道路の現状と今後の考え方について

A

県が主体となる国道横断デッキの小田原側の工事は、昨今の鋼材値上げや品薄が原因となり、

完成が6か月遅れ、来年9月の予定となるものである。鉄道事業者が主体となる箱根湯本駅舎の改良工事は、

デッキ工事の遅れが影響し、本格供用開始は来年12月の見込みであるが、4月には新駅舎2階を利用した暫定供用開始を予定している。町が主体となる駅南側広場の整備は、県小田原土木事務所と連携・連絡を密にし、来年度に広場整備を完成させたいと考えている。

Q

2 点目について、湯本橋から弥栄橋までは、平成10年度から19年度で整備をし、

一応の効果が出ているが、一部未整備の箇所もあり、引き続き地権者の了解を得るべく、交渉していきたい。

また、今後の整備は滝通りの既存歩道延長280mの路面整備をしなければならぬと思っているため、所要の措置をしていきたい。

3 点目について、小田原箱根道路は、全線供用開始時期の見通しを示していただけない状況で、現在も横浜国道事務所へ再三お願いしており、情報が入り次第、

議会へ報告していきたい。また、湯本山崎地区住宅市街地総合整備事業については、平成10年度から19年度までを事業期間とする国の補助対象事業として、整備を進めてきたが、用地交渉の難航や町財政の窮状もあり、期間内に事業完成を見ることができず、今日に至っている。

受賞 おめでとう

永年にわたり議会議員として、議会の運営や地方自治の振興発展に寄与された功績により表彰されました。受賞を心からお祝い申し上げます。

◎全国町村議会議長会特別 功労者表彰



西村和夫 議長

◎神奈川県地方自治功労者 表彰（勤続15年）

◎全国町村議会議長会自治 功労者表彰（勤続15年）



勝俣清春 議員

「議会の傍聴してみませんか」

議会は、公開を原則にしていますので、どなたでも本会議の傍聴をすることができます。

町政を身近に知るためにも、議会の傍聴をおすすめします。傍聴を希望される方は、本会議の当日、議会事務局で受付簿に住所、氏名などを記入していただくだけで、結構です。詳しいことは、議会事務局までお尋ねください。

